

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について

平成31年4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果を報告します。

報告内容

- 1 調査の実施状況
- 2 教科に関する調査の結果
- 3 質問紙調査（生活や経験について）の結果
- 4 教科に関する調査の結果と質問紙調査の結果との関係から
- 5 結果をもとにした安城市の傾向と対策

1 調査の実施状況

調査実施日	平成31年4月18日
調査内容	教科に対する調査 ※ 小学校 国語、算数 中学校 国語、数学、英語
調査対象	小学校21校6年 1,937名、中学校8校3年 1,814名
調査状況	小学校 国語1,897名、算数1,897名 中学校 国語1,684名、数学1,688名、英語1,686名

※本年度よりA・Bの問題区分を見直し、「知識」「活用」の一体化がなされている。

（平成30年度全国的な学力調査に関する専門家会議配付資料「資料2-1 知識・活用を一体的に問う調査問題の在り方について」文部科学省 参照）

2 教科に関する調査の結果

各教科それぞれの領域について、全国の平均正答率と比較をし、

「◎：たいへんよくできている」

「○：よくできている」

「□：おおむねできている」

「△：やや劣っている」

「▲：努力を要する」の5段階で示した。（以下の例参照）

（例）A教科 「○よくできている」 ← 教科の総合判定

□	書く能力	図表やグラフなどを用いた目的を捉える
○	読む能力	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にし ながら読む目的に応じて必要な情報を捉える

この場合、A教科において、総合判定では全国比で「よくできている」となり、区分別では全国比で、「書く能力」に関する問題について、□「おおむねできている」。「読む能力」について、○「よくできている」となる。区分それぞれの出題内容も合わせて記している。

<小学校6年生の状況>

国語 「 ▲ 努力を要する 」

	評価の観点		出題内容
▲	国語への関心 ・意欲・態度	△	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
		▲	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む
		△	話し手の意図を捉えながらか聞き、自分の考えをまとめる
▲	話す・聞く能力	▲	話し手の意図を捉えながらか聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
		▲	目的に応じて、質問を工夫する
		△	話し手の意図を捉えながらか聞き、自分の考えをまとめる
△	書く能力	□	図表やグラフなどを用いた目的を捉える
		△	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える
		△	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
△	読む能力	△	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む
		▲	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
▲	言語についての 知識・理解 ・技能	▲	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
		▲	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
		▲	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

<小学校6年生の状況>

算数 「 □ おおむねできている」

	評価の観点		出題内容
□	数学的な 考え方	□	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
		□	資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
		□	示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
		□	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
		□	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
		□	目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
		△	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
		□	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる
△	数量や図形 についての 技能	□	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
		□	棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
		□	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
		▲	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
□	数量や図形 についての 知識・理解	□	台形について理解している
		□	示された除法の式の意味を理解している

<中学校3年生の状況>

国語 「 おおむねできている 」

	評価の観点		出題内容
<input type="checkbox"/>	国語への 関心・意欲 ・態度	<input type="checkbox"/>	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ
		<input type="checkbox"/>	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
		<input type="checkbox"/>	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
<input type="checkbox"/>	話す・聞く能力	<input type="checkbox"/>	話合いの話題や方向を捉える
		<input type="checkbox"/>	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
		<input type="checkbox"/>	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
<input type="checkbox"/>	書く能力	<input type="checkbox"/>	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
		<input type="checkbox"/>	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
<input type="checkbox"/>	読む能力	<input type="checkbox"/>	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
		<input type="radio"/>	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
		<input type="checkbox"/>	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ
<input type="checkbox"/>	言語についての 知識・理解 ・技能	<input type="checkbox"/>	封筒の書き方を理解して書く
		<input type="checkbox"/>	語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

<中学校3年生の状況>

数学 「 ○ よくできている 」

	評価の観点		出題内容
□	数学的な見方や考え方	□	グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することができる
		□	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
		○	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる
		□	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
		□	問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
		○	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
		○	事柄が成り立つ理由を説明することができる
		○	総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる
○	数学的な技能	□	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
		◎	反比例の表から、x と y の関係を式で表すことができる
		□	簡単な場合について、確率を求めることができる
○	数量や図形などについての知識・理解	○	数の集合と四則計算の可能性について理解している
		□	平行移動の意味を理解している
		○	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
		○	反例の意味を理解している
		◎	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる

<中学校3年生の状況>

英語 「 □ おおむねできている 」

	学習指導要領 の領域		出題内容
□	聞くこと	□	語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
		□	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
		△	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
		□	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
		□	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
		□	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
□	読むこと	□	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
		□	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
		□	まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
		□	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
		□	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
□	書くこと	□	文の中で適切に接続詞を用いることができる
		□	一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
		□	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
		□	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
		◎	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
		□	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる

3 質問紙調査（生活や経験について）の結果から

安城市の結果データをもとに全国と比較した。それぞれの質問内容は文部科学省によって次のように分類されている。

基本的な生活習慣等	…（生活習慣）
挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等	…（規範意識・自己有用感等）
学習習慣等	…（学習習慣）
地域や社会に関わる活動の状況等	…（地域・社会）
I C Tを活用した学習状況	…（I C T）
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	…（主体的・対話的）
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）	…（国語学習）
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）	…（算数学習）
各教科の調査時間の適切性	…（調査時間）
※以下中学校のみ	
部活動に関する状況	…（部活動）
学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）	…（英語学習）

※紙面上以下は（ ）の言葉で省略する。

それぞれの質問内容について、全国と比べてよいと思われる回答が多いものと、課題があると思われる回答が多いものと分けて以下に示す。

<小学校6年生>

【全国比でよいと思われる回答】

学習習慣	授業時間以外に、平日1時間以上読書をしている割合が高い
算数学習	算数の勉強が好きと答えた割合が高い

＜小学校6年生＞

【全国比で課題があると思われる回答】

生活習慣	毎日、同時刻に寝ている割合が低い
	家の人と学校での出来事について話す割合が低い
規範意識・ 自己有用感 等	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦すると回答した割合が低い
	先生が、自分のよいところを認めてくれていると思う割合が低い
	自分には、よいところがあると思う割合が低い
	人が困っているときは、進んで助けようとする割合が低い
	将来の夢や目標を持っている割合が低い
	学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある割合が低い
学習習慣	家で自分で計画を立てて勉強をしている割合が低い
	授業時間以外に、平日1時間以上勉強をしている割合が低い
地域・社会	地域や社会をよくするために何をすべきかを考える割合が低い
	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う割合が低い
I C T	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのI C Tを使用したと回答した割合が低い
主体的 ・対話的	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う割合が低い
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う割合が低い
	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う割合が低い
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う割合が低い
	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う割合が低い
	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う割合が低い
	学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う割合が低い
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていると思う割合が低い	

＜小学校6年生＞

【全国比で課題があると思われる回答】

国語学習	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していると思う割合が低い
	国語の授業が好きと回答した割合が低い
	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいると思う割合が低い
	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていると思う割合が低い
	国語の授業の内容はよく分かると回答した割合が低い
	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていると回答した割合が低い
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う割合が低い
算数学習	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える割合が低い
調査時間	国語の解答時間は十分だったと回答した割合が低い

＜中学校3年生＞

【全国比でよいと思われる回答】

数学学習	数学の授業の内容はよく分かると答えた割合が高い
	数学の勉強は好きと答えた割合が高い
部活動	学校の部活動に参加している割合が高い

＜中学校3年生＞

【全国比で課題があると思われる回答】

生活習慣	毎日、同時刻に寝ている割合が低い
規範意識・ 自己有用感 等	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦すると回答した割合が低い
	自分には、よいところがあると思う割合が低い
	将来の夢や目標を持っている割合が低い
	先生が、自分のよいところを認めてくれていると思うと回答した割合が低い
学習習慣	家で自分で計画を立てて勉強をしている割合が低い
地域・社会	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う割合が低い
	地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがあると回答した割合が低い
	日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う割合が低い
I C T	1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのI C Tを使用したと回答した割合が低い
主体的 ・対話的	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う割合が低い
	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う割合が低い
	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていると思う割合が低い
	学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う割合が低い
	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う割合が低い
	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う割合が低い
	1、2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う割合が低い
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う割合が低い	

<中学校3年生>

【全国比で課題があると思われる回答】

国語学習	国語の勉強は大切だと回答した割合が低い
	国語の勉強は好きと回答した割合が低い
	国語の授業の内容はよく分かると回答した割合が低い
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う割合が低い
	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいると回答した割合が低い
	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していると回答した割合が低い
	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするとき活用しようと思う割合が低い
英語学習	英語の勉強は大切だと思う割合が低い
	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う割合が低い
	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思う割合が低い
	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う割合が低い
	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う割合が低い
	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う割合が低い
	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う割合が低い
	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思う割合が低い
	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う割合が低い
調査時間	英語の解答時間は十分だったと回答した割合が低い

4 教科に関する調査の結果と質問紙調査の結果との関係から

安城市の児童生徒を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4層（高い順にA～D層）に分け、質問紙結果を比較して見られる傾向を記載した。

<小学校6年生>

【正答率が高い層にみられる傾向】

生活習慣	朝食を毎日食べている児童が多い
	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしている児童が多い
規範意識・自己有用感等	学校のきまりを守っている児童が多い
	人の役に立つ人間になりたいと思ひ児童が多い
学習習慣	読書が好きと回答している児童が多い（特に国語の正答率が高い児童）
主体的・対話的	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている児童が多い
	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思ひ児童が多い
国語学習	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思ひ児童が多い
算数学習	算数の勉強は大切だと思ひ児童が多い
	算数の授業の内容はよく分かると回答した児童が多い
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思ひと回答した児童が多い
	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えると回答した児童が多い
	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えると回答した児童が多い
	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていると回答した児童が多い

<中学校3年生>

【正答率が高い層にみられる傾向】

生活習慣	朝食を毎日食べている生徒が多い
	毎日、同じくらいの時刻に起きていると回答した生徒が多い
	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしている回答した生徒が多い
規範意識・自己有用感等	学校の規則を守っていると回答した生徒が多い
	家で自分で計画を立てて勉強をしていると回答した生徒が多い
学習習慣	読書が好きと回答している生徒が多い（特に国語の正答率が高い生徒）
主体的・対話的	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていると回答した生徒が多い
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した生徒が多い
	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思うと回答した生徒が多い
	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思うと回答した生徒が多い
国語学習	国語の授業の内容はよく分かると回答した生徒が多い
	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていると回答した生徒が多い
	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していると回答した生徒が多い
	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいると回答した生徒が多い
算数学習	数学の勉強は好きと回答した生徒が多い
	数学の授業の内容はよく分かる回答した生徒が多い
英語学習	英語の勉強は好きと回答した生徒が多い
	英語の勉強は大切だと回答した生徒が多い
	英語の授業はよく分かると回答した生徒が多い
	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した生徒が多い
	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思うと回答した生徒が多い
	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思うと回答した生徒が多い
	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思うと回答した生徒が多い

5 結果をもとにした安城市の傾向と対策

各教科の正答率と質問紙調査の結果などから見えてきた安城市の傾向とその対策について、以下の4点にまとめた。

① 各教科の傾向について<国語>

小学校においては、「努力を要する」となった。特に「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「言語についての知識・理解・技能」においての力が充分でなく、中でも相手に質問をして考えをまとめたり、漢字やことわざを使ったりすることに課題が見られた。(P. 2)

質問紙調査では、「国語が好き」「授業がよく分かる」と回答した児童の割合が低く授業の中で話したり聞いたり、書いたりしている自覚も低かった。(P. 9)

国語の授業が将来社会に出たときに役に立つと回答した児童が、正答率が高い層に見られた。(P. 12)

中学校においては、「おおむねできている」となった。「読む能力」については情報を整理し内容を捉える力が見られた。(P. 4)

質問紙調査では、国語の授業が「大切だ」「好きだ」「よく分かる」と回答した生徒の割合が全国比でそれぞれ低く、国語学習への意欲や学んだことを活用しようとするに課題が見られた。(P. 11)

国語の授業がよく分かると回答した生徒など、国語の授業で、自分の考えを話したり書いたり、伝えることを工夫したりしながら学習を進める生徒の正答率が高い層に見られた。(P. 13)

読書に関する生活習慣の質問では、小学校において、1～2時間および2時間以上読書をしている割合が全国比で高かった。また、正答率が高い層に、「読書が好き」と回答した児童生徒が多かった。(P. 7、12、13)

対 策：<小学校>

- ・学習が将来に役立つという意識を付けながら、相手に質問をしたり、文章にまとめたりする言語活動の充実を図る。
- ・授業の中では、考えを伝え合ったりする学習活動をもとに分かりやすい授業を推進し、特に「書いてまとめる」「漢字やことわざを活用していく」ことに着目して授業を進めていく。また、まとまった文章を読むことに慣れさせ、そこから必要な情報を読み取る力をつけていく。
- ・「分かった」「大切だ」「好きだ」など学ぶ意欲を触発し、国語に意欲的に取り組む児童を目指していく。

対 策：<中学校>

- ・学習意欲や学んだことを活用できることを意識付けながら自分の考えを話したり書いたり、伝えることを工夫した授業を進めていく。

対 策<小・中学校ともに>

- ・読書が好きであることが国語の授業などでも生かされ、国語学習に効果的につながるようにする。
- ・各校の学校司書と連携をし、更に読書を推進し、本に親しむ活動を推奨していく。

② 各教科の傾向について〈算数・数学〉

小学校においては、「おおむねできている」となった。課題が見られたのは、「数学的な考え方」において、複数の数量から立式していくことと、「数量や図形についての技能」において、加法と乗法を混合した整数と小数の計算する力であった。

(P. 3)

質問紙調査では、算数の勉強が好きだと回答した児童の割合が全国比で高かった。一方、もっと簡単に解く方法はないかと考える割合は全国比で低かった。(P. 7、9)

算数が「大切だ」「よく分かる」「役に立つ」と考えたり、「諦めずに解く」と回答したりするなど、学習に前向きな回答をした児童が、正答率の高い層に見られた。

(P. 12)

中学校においては、「よくできている」となった。「数学的な技能」において、反比例の表から式を求める力が見られた。また「数量や図形などについての知識・技能」においては、資料を整理した表から最頻値を読み取る力が見られた。(P. 5)

質問紙調査では、数学が「好き」「授業がよく分かる」と回答した生徒の割合がそれぞれ高かった。(P. 9・13)

数学が「好き」「授業がよく分かる」と回答した生徒が正答率の高い層に見られた。(P. 14)

対 策：〈小学校〉

- ・学習をすすめる中で、よりよい解答方法を考えて行くことの喜びを感じさせながら、今ある算数・数学への意欲を更に高めていく。
- ・授業の中では、「よく分かる」「役立つ」を意識した学習活動を充実させ、考えながら立式したり、加法と乗法が混合するような複雑な計算など、課題が見られたところに配慮したりしながら学習活動を進めていく。

対 策：〈中学校〉

- ・算数・数学への意欲を維持するとともに、正答率の高い生徒がその力を発揮し、仲間とも関わりながら学びをすすめ、学び合っていくことの喜びを全体で感じられるような学習活動を進めていく。

③ 各教科の傾向について<英語>

英語については、「おおむねできている」となった。一部「聞くこと」について、情報を正確に聞き取る力に課題があった。また、「書くこと」については、与えられた情報に基づいて否定文を書く力が見られたが、適切に接続詞を用いることに課題が見られた。(P. 6)

質問紙調査では、英語の勉強が大切だと回答した生徒の割合など、多くの項目において全国比で低く、特に1・2年生の時に、意見を述べ合ったり、自分の気持ちを書いたりする活動などが低かった。(P. 11)

英語が好き、大切だ、よく分かるなど、学習に前向きな回答をした児童が正答率の高い層に見られた。(P. 13)

対 策

- ・英語学習そのものの価値をていねいに伝え、学ぶ喜びを軸に意識付けを図りながら学習活動をすすめる。
- ・授業では、意見を述べ合ったり、自分の気持ちを書いたりする活動を推進し、「分かった」「大切だ」「好きだ」など、英語に意欲的に取り組む生徒を目指していく。

④ 質問紙調査から見られる傾向について（各教科以外）

<生活習慣>

小・中学校ともに、同じ時間に寝ている割合が全国比で低かった。小学校では、「家の人と学校の出来事について話す」割合が低い傾向が見られた。小・中学校ともに、正答率が高い層に、「家の人と学校の出来事について話す」と回答した生徒が多く見られた。（P. 8、11、12、13）

<規範意識>

小・中学校ともに正答率の高い層に「学校の規則（きまり）を守っている」と回答した児童生徒が見られた。（P. 12、13）

<挑戦心、達成感、自己有用感>

小・中学校ともに、「失敗を恐れなくて挑戦する」「自分によいところがある」「夢や目標をもっている」と回答した割合が低かった。（P. 8、10）

小学校では特に、「助け合ったり」「話し合ったり」していくことに対する回答の割合が低かった。中学校では特に、「自分によいところがある」「夢や目標をもつ」ことの割合が低かった。小・中学校ともに、「先生がよいところを見つけてくれる」と思う児童生徒の割合が全国比で低く、正答率の高い層に「先生がよいところを見つけてくれる」と回答した児童生徒が多かった。（P. 8、10、13、14）

<ICT>

小・中学校ともに、昨年度コンピュータなどのICTを使用したと回答した割合が低かった。（P. 8、10）

<主体的・対話的>

小・中学校ともに、主体的、対話的な学びに関する質問事項に肯定的に回答した割合が低かった。特に、自分で考えたり、話し合ったり、学んだことを生かしたりすることなどの割合が低かった。また、小学校ではグループで力を合わせることに、中学校では自分で課題を立てることに回答した割合が低かった。（P. 8、10）

小・中学校ともに正答率が高い層に、「課題に向けて、自分で考えて、自分から取り組んだ」「授業で学んだことを、他の学習に生かしている」と回答した児童生徒が多く見られた。（P. 12、13）

対 策

- ・家庭とのつながりを意識しながら、規則正しい生活習慣を大切にする。
- ・児童生徒の挑戦心、達成感、自己有用感につながる学級づくり、授業づくりを推奨し、小学校では仲間意識、中学校では自尊感情を伸ばすようなことをもとに活動を進めていく。また、教師が具体的に評価をしていくことで「先生が認めてくれる」ことを児童生徒が実感できるようにする。
- ・ICTの利用の充実を図り、タブレットを有効に使った学習や、パソコンを生かしたプログラミング教育を推進していく。安城市の学習支援ソフト（eライブラリ）の家庭学習機能も利用し、保護者とも連携を取りながら児童生徒にICTを利用した学習のよさを実感させていく。
- ・課題に向けて主体的に取り組み、話し合いながら学んだことを生かしていく授業を推進し、主体的・対話的な学びの充実を図る。中でも小学校では学級やグループ活動、中学校では自分から取り組むことを特に意識していく。